

【報告】浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針について

こども家庭部 幼児教育・保育課

1 概要

令和5年2月15日から3月16日まで実施したパブリック・コメントの実施結果を踏まえ、浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針を以下のとおり修正し、令和5年6月から施行した。

2 パブリック・コメント実施結果

【意見提出者数】 81人・12団体

【意見数】 350件（提案28件、要望261件、質問61件）

【案に対する反映度】 案の修正 34件 今後の参考 43件
盛り込み済 58件 その他 215件

【意見の傾向】

- ・規模適正化（統廃合）に関する意見が最も多く、拠点園の設定、認定こども園化、中山間地域への配慮に関する意見も多い。
- ・規模適正化（統廃合）と認定こども園化については、肯定的な意見と慎重な意見の双方が寄せられている。
- ・「どの箇所をどう変更する」といった具体的な意見は少ないが、特定の園への対応を求める意見も散見された。

3 方針修正内容

(1) パブリック・コメントの意見を踏まえ修正した箇所

修正前	修正後
4 (1) ② 拠点園 ・市立幼稚園・保育園の中から、 <u>運営継続が想定される「拠点園」</u> を設定します。	4 (1) ② 拠点園 ・市立幼稚園・保育園の中から、 <u>園児数や施設の状況などを踏まえ「拠点園」</u> を設定します。
6 (2) 拠点園の設定 ※ 小規模園（全園児15人以下程度）は、拠点園に設定しない場合があります。	6 (2) 拠点園の設定 ※ 小規模園（全園児15人以下程度）は、拠点園に設定しない場合があります。 ※ <u>面積が広く、統廃合した場合、著しく通園が困難になるなど、特段の事情がある場合には、拠点園の設定に考慮します。</u>

<p>7 (1) 地域性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>中山間地域などの地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、保護者や地域の理解と協力を得ながら、慎重に統廃合を検討します。</u> 	<p>7 (1) 地域性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、統廃合が必要とされる場合には慎重に検討を進めます。</u> ・ <u>中山間地域の市立園は、地理的要因や過去の統廃合などの状況を考慮するとともに、統廃合検討開始の目安（2年続けて「5人未満」になったとき）に該当した場合においても、在園児がおり、園存続の要望がある場合には、保護者や地元自治会などとともに園のあり方について検討します。</u>
--	---

(2) その他

修正前	修正後
<p>(タイトル) 浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針</p>	<p>(タイトル) 浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針 ～ <u>子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現するために</u> ～</p>

浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針(案)

に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和5年2月から3月にかけて実施しました浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民81人・12団体から350件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市立幼稚園・保育園適正化等に関する方針」を策定し、令和5年6月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市立幼稚園・保育園の運営等に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和5年5月

浜松市こども家庭部 幼児教育・保育課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2117

FAX 053-457-2039

Eメールアドレス

youho@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和5年2月15日から令和5年3月16日			
【意見提出者数】	81人・12団体			
【意見数内訳】	350件 (提案28件、要望261件、質問61件)			
【提出方法】	持参(2) 郵便(8) 電子メール(30) FAX(17) 区協議会(36)			
【案に対する反映度】	案の修正	34件	今後の参考	43件
	盛り込み済	58件	その他	215件

目次

1	方針策定の目的・基本理念(意見数14件)	2ページ
2	就学前施設の現状(意見数7件)	3ページ
3	課題(意見数13件)	4ページ
4	基本方針	
	(1) 提供体制の確保(意見数79件)	6ページ
	(2) 運営の充実(意見数60件)	15ページ
	(3) 施設の整備(意見数17件)	21ページ
5	地域(中学校区)ごとの適正化等の進め方	
	(1) 市立幼稚園・保育園の両方がある地域(意見数0件)	23ページ
	(2) 市立幼稚園のみの地域(意見数2件)	23ページ
	(3) 市立保育園のみの地域(意見数1件)	24ページ
	(4) 市立幼稚園・保育園がない地域(意見数1件)	24ページ
6	規模適正化、拠点園の設定、認定こども園化の考え方	
	(1) 規模適正化(意見数17件)	24ページ
	(2) 拠点園の設定(意見数8件)	26ページ
	(3) 認定こども園化(意見数7件)	27ページ
7	方針運用にあたっての配慮事項等	
	(1) 地域性への配慮(意見数37件)	28ページ
	(2) 統廃合への配慮(意見数7件)	33ページ
	(3) 私立園との連携(意見数8件)	33ページ
	(4) その他(意見数11件)	34ページ
8	スケジュール(意見数3件)	35ページ
	その他(意見数58件)	36ページ

1 方針策定の目的・基本理念（14件）

要望 1	幼稚園、保育園、認定こども園では、国の所管も違っており、運営も違うはずである。同じような施設で、学童もある。それぞれの施設でどのように子供を育て、守っていくのか、この方針からではわからない。
-----------------	---

【市の考え方】その他

本方針は、それぞれの施設の運営方針を示すものではなく、幼児教育・保育の提供体制や運営、施設のあり方など、今後の市立幼稚園・保育園の方向性（考え方）を示すものとして策定したものです。

質問 1	適正化とは何を指し、何を根拠にしているのか。行政や財政の視点だけで、真に子供と保護者、地域社会にとっての適正化になっていない。
-----------------	---

【市の考え方】その他

適性化とは、少子化や保育需要の拡大、私立園の状況などを踏まえ、市立幼稚園・保育園を今の社会環境に合わせた体制にすることです。

方針策定にあたっては、私立園も含めた就学前施設の現状を分析し、幼稚園・保育園の保護者や職員などからもご意見を伺ったうえで、方針策定のために設置した検討会において検討してきました。

要望 2	「子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現すること」は、まさにそのとおりである。
要望 3	市立園・私立園、幼稚園・保育園・認定こども園、それぞれに良さがある。市は、家庭の方針や状況に沿った園選びができるよう、園を用意しておくべきである。
質問 2	「より望ましい幼児教育・保育環境」を市はどう捉えているか。

【市の考え方】その他

子供たちの健やかな成長を促すため、より充実した幼児教育・保育の環境を整えたいと考えており、そのためには、一定の園児数の確保を含め、市立幼稚園・保育園の課題を解決するとともに、私立園を含む、地域全体の幼児教育・保育の提供体制の充実と質の向上を図る必要があると考えます。

提案 1	「持続可能で、質の高い幼児教育・保育」とは、具体的にどういうことなのか記載が必要である。
要望 4	質の高い幼児教育・保育とあるが、何をもちて質が高いとするのか明確に感じられない。
質問 3	「質の高い」とはどういうことか明確にしてほしい。

質問 4	質の高い幼児教育・保育とは、どの様なものか。
-----------------	------------------------

【市の考え方】その他

幼児教育・保育の質とは、子供の健やかな成長を促すための環境であり、園児数や職員数などを含む組織体制のほか、幼稚園教諭・保育士のスキルや意欲、実践される教育・保育や教材、施設など、様々な要素で構成されるものであると考えます。このため、質の向上を図るためには多面的なアプローチが必要と考え、方針では、基本方針の中で「提供体制の確保」「運営の充実」「施設の整備」に分け、それぞれについて質を向上するための取り組みを設定しました。

要望 5	「持続可能で質の高い幼児教育・保育を実現していく」については、保護者も望んでいることだと思う。
要望 6	適正化においては、幼稚園、保育園、認定こども園、どの場合においても保育の質を確保し、子供も、親も、保育者も、安心できるものとしてもらいたい。
要望 7	誰もが安心して子供を産み育てることが喜びとなる市の施策を望む。それが、質の高い幼児教育・保育ではないか。
要望 8	質の高い幼児教育・保育をどう定義するかが大事である。これからは、これまで以上に多様な人との関わりの中で、人と人との違いを当たり前として、それぞれに正しさがあることを教育現場が保証し、子供たちの価値観を育む必要がある。人間そのものを学び、出会う世界を探求していく対話的で主体的な深い学びを、現場がしっかり可視化していく必要がある。そのためには、園が多様であることが大切である。

【市の考え方】今後の参考

方針の運用にあたり参考とさせていただきます。

要望 9	基本理念の言葉は、単に言葉だけきれいに飾り、実態や現実を踏まえていない。「持続可能で質の高い幼児教育・保育を実現していくため」についても言葉遊びにすら感じる。
-----------------	---

【市の考え方】その他

方針策定にあたっては、私立園も含めた就学前施設の現状を分析し、幼稚園・保育園の保護者や職員などからもご意見を伺ったうえで、方針策定のために設置した検討会において検討してきました。基本理念に基づき、基本方針に掲げた取り組みを推進いたします。

2 就学前施設の現状（7件）

提案 2	方針案にコスト面に関する説明が一切ない。公立園の運営に関わる経常的経費、施設の改修コストなど、税負担をしている市民が判断できるように説明すべきである。
-----------------	---

提案 3	公立園が税金で成り立っている以上、人件費を含む園運営に係る費用も掲載してもらいたい。
提案 4	各園の教職員・保育士の人数を掲載してもらいたい。

【市の考え方】その他

方針の公表に合わせて、園運営に係るコストなどを資料編として公表します。

質問 5	令和5年度の待機児童数の状況はどうか。
---------	---------------------

【市の考え方】その他

令和5年4月1日時点の保育所等利用待機児童数は0人でした。

質問 6	浜松市の就学前施設は、私立化していると考えて良いか。
---------	----------------------------

【市の考え方】その他

私立認定こども園等の増加に伴い、私立園に通う園児数も増加しています。この様な状況の中、市立幼稚園・保育園の園児数は減少していますが、一定の受け皿を確保しており、現時点で私立化しているとは考えていません。

要望 10	旧浜松地域は、以前から幼児教育・保育を民間の幼稚園・保育園に任せている印象を受ける。
----------	--

【市の考え方】その他

旧浜松地域は従来から私立園が多く、それぞれの建学の精神等に基づく教育・保育が行われています。

要望 11	待機児童ゼロは、現場の努力の賜物であることを認識してもらいたい。
----------	----------------------------------

【市の考え方】その他

私立園を含め、就学前施設に関わる全ての関係者のご尽力によるものと認識しています。

3 課題（13件）

質問 7	市立幼稚園の園児数減少の原因は、市はどのように考えているか。施設の老朽化も保護者ニーズに答えられていないものの一つなのか。
---------	---

質問 8	少子化の中で園児数も減っていると思うが、市立幼稚園の減少数が大きい要因をどのように考えているか。
質問 9	市立幼稚園離れが目立つように感じる。市立は私立に比べ迎えの時間が早いため、私立を選んでいるということか。
質問 10	三方原地区は、人口が増えているが、市立幼稚園の園児数が減っている原因は何か。

【市の考え方】 その他

少子化の進展、共働き家庭の増加などによる保育需要の増加、民間の認定こども園等の増加や幼児教育・保育の無償化などによる選択肢の広がりなどが、三方原地区を含む、市全体の市立幼稚園の園児数減少の要因と考えます。

質問 11	ライフスタイルの多様化や子育てに対する価値観の変化とは、どういうことか。
----------	--------------------------------------

【市の考え方】 その他

人生観や価値観などの幅が広がり、働き方や子育てと仕事とのバランス、教育方針など、各家庭の求めるものが多様化し、変化してきたことと捉えています。

要望 12	市立幼稚園・保育園は、もっと前から親のニーズに応じてほしかった。今後は、現状を踏まえ、子供たちが安心して学べる場を作ってもらいたい。
要望 13	市立園から私立園へ園児が流れているのは、市立幼稚園・保育園が親の要望に応じていなかったからではないか。市立の幼児教育は、とても大切だと思っていただけ残念である。
質問 12	「保護者のニーズに答えられていない」とあるが、具体的にはどのようなことか。
質問 13	保護者のニーズに答えられていないとは、具体的にどのようなことか。都市部と中山間地域にニーズの違いはあるか。
質問 14	趣旨・目的にある「幼児教育・保育に対する市民のニーズの多様化」とは、具体的にどのようなニーズか。また、そのニーズの中に少人数での幼児教育・保育は含まれないのか。

【市の考え方】 その他

市立幼稚園・保育園の保護者を対象に行ったアンケート調査の結果では、園運営などに対する要望として、幼稚園では、①預かり保育の拡充、②給食の提供、③幼稚園教諭の質の向上、が上位となりました。この結果は、区の大部分が中山間地域に属する天竜区の市立幼稚園においても同様でした。保育園では、①給食の充実、②保育士の質の向上、③保育士の増員、が上位となりました。

一方、市立幼稚園・保育園の職員を対象に行ったアンケート調査では、保護者の

要望が高いと感じる内容として、幼稚園では、「適切な園児数の確保」が3位に入っており、保育園では、「駐車場完備・確保」が1位となりました。

また、施設の老朽化への対応についてもご意見をいただくことがあります。

なお、少人数保育のニーズについては、保護者に対して行ったアンケートの結果では、幼稚園4.7%（13/13位）、保育園3%（12/13位）となっていました。今回のパブリック・コメントにおいて複数のご意見・ご要望をいただいています。

今後も、適宜、保護者などへのニーズ調査を行い、課題などを把握したうえで、より良い園運営に努めます。

要望 14	「都市部と中山間地域では実情が多く異なっています」はその通りであるが、実情への認識に不安を感じる。当事者の立場になって考え直してほしい。
質問 15 16	都市部と中山間地域では、実情が大きく異なっているとあるが、具体的にどのように異なっているのか。

【市の考え方】その他

中山間地域には、市立保育園がなく、私立園も少ないため、地域の就学前施設を市立幼稚園が支えている状況です。また、地域内に対象年齢の子供が少なく、園児数が少ないため、市立幼稚園の小規模化が顕著です。そのため、過去に、いくつかの市立幼稚園において統廃合が行われており、その結果、通園エリアが広大となっている園があります。その一方で、小規模園における集団での学びを補完するため、他園との交流事業や、小学校との連携による異年齢交流が行われています。

これらの実情に加え、保護者や職員へのアンケート調査の結果などを踏まえ、方針を策定しています。

4 基本方針

(1) 提供体制の確保（79件）

①「集団での学び」の充実を図るため、規模適正化に努めます。（56件）

質問 17	規模適正化とは、実質的な「統廃合」であると思うが、この考えで間違いないか。
----------	---------------------------------------

【市の考え方】その他

統廃合は、規模適正化の手段の一つであり、子供たちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現するために行われるものと考えています。

提案 5	集団での学びでは、1学年15人以上の園児の確保となっているが、もう少し少人数でも集団での学びは十分である。保育には、集団の良さだけでなく、個々の成長に寄り添う保育の良さがある。ヨーロッパ基準とまではいかなくても、幅のある表現を望む。
提案 6	テレワークなどが始まった時代に合致した教育と考えれば、集団教育を毎日やる必要はない。

質問 18	1 学年 15 人以上を確保する「集団での学び」を重要視する根拠を示してほしい。
質問 19	「集団での学び」という考え方の意味が分からない。子供の数が多ければ多いほど質の高い教育ができるという根拠を示してほしい。
質問 20	少人数であっても充実した教育はできる。質の高い幼児教育とは何をもとに考えているか。
質問 21	15 人以上の園児の確保は全国的な基準か、もしくは市独自の基準か。
質問 22	1 学年 15 人以上の園児の確保とあるが、15 人以上が適正であることを示す根拠を示してほしい。
質問 23	1 学年 15 人以上は少ない印象を受ける。設定の根拠は何か。

【市の考え方】その他

学校教育法第 23 条第 2 号において、幼稚園の教育目標として「集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと」を掲げており、子供の健やかな成長を促すためには、集団の中で生活する実体験は重要と考えます。

15 人の設定については、7～8 人×2 集団、5 人×3 集団、3 人×5 集団など、活動の内容や目的に応じて柔軟な対応ができる最低人数として設定しました。一般社団法人全国幼児教育研究協会が行った研究（平成 23 年度文部科学省委託「幼児集団の形成過程と協同性の育ちに関する研究」）では、「3 歳児では 20 人前後、4・5 歳児では 21 人以上 30 人くらいの集団が適切」との考察もありますが、現在の浜松市の市立園の園児数を勘案した結果、15 人以上の確保を目安に設定し、幼児期における教育・保育の充実と質の向上を図ることとしました。

要望 15	園児数が減少した市立園については、特別な箇所を除き、市立園だからこそ役割を終えたと判断し、閉園すべきである。
要望 16	他学年との関わりも大切だが、同学年の子供たちとの関わりが社会性の身に付けやすさなどにつながり、幼保の規模適正化は前向きに検討してほしい。
要望 17	子供には、色々な友達と関わり、充実した園生活を送ってほしいため、できるだけ早く統合を進めてほしい。
要望 18	集団での学び、友達との会話、自分とは違う意見に耳を傾けたり、自分の気持ちを人に伝えたりすること。幼稚園で体験して、身に付けてほしいことが、少人数すぎてできないことが増えている。母校がなくなる

	ことや地域から幼稚園がなくなることに寂しさを感じる人が多いと思うが、これからの子供たちのための変化をお願いしたい。
要望 19	統廃合には賛成である。市立だけでなく私立も定員割れを起こしている。市立以外の施設や通園バスのエリアなども把握し、市立園が本当に必要なのか、地域ごと、広い視野で検討してほしい。
要望 20	少子化が進み、大幅な定員割れをしている中、果たして、公立幼稚園が60園も必要なのか。中山間地域など、市立幼稚園しかない地域では必要だが、統合できるところは統合しても良いと思う。
要望 21	統廃合に賛成する。一定数以上の園児を確保し、人員配置の適正化を図り、私立園とバランスがとれた運営財源の見直しを図ったうえで、集団教育の場として、環境が整うことを望む。
要望 22	園児数が45人(15人×3学年)に満たない園が多くある中、以前からこうなることはわかっていたはずである。なぜ、今まで対策をしてこなかったのか疑問が残る。園児数の減少により私立園の閉園も出てきている中、対応が遅すぎる。早急に検討すべきである。
要望 23	地域から声が出て、統廃合が進むことが理想だが、現実には「地元に残してほしい」という気持ちは強いと思う。しかし、子供たちにとってどうかという視点で、真剣に向き合ってほしい。園児が1人になったとき、それでも園を残したいという考えは疑問である。市立幼稚園の園児数は減少しており、ここで見直しをすべきである。指導者の資質を低下させないためにも、ここで良い方向に転換できると良い。
要望 24	園児数が減少している園は、近隣の拠点園との統合は仕方ないが、市立のままで進めてほしい。近隣に園がない場合は、保護者、子供に不利益とならないよう進めてほしい。
要望 25	居住地や就労の有無などに関わらず、通う園を選択でき、どこの園に通っても安全・安心な生活が当たり前に行き渡ることができる環境が理想である。数年前と比べ、選択できるようになったと思うが、まだ不安な部分もあるため、市立園には、この部分を補う形で適正化してほしい。
要望 26	少子化の中、統廃合はやむを得ないと思う。合併や新設した園において、安全・安心に、学びや自由な遊びができる充実した園になるよう、国や自治体が補助金やそれにあつた政策を打ち出すことが大切である。
要望 27	幼稚園が近くにあることや地域住民が園運営に関わってくれていることは、保護者の安心感につながっている。統廃合は仕方ないことだと思うが、慎重に進めてほしい。
要望 28	統廃合などについては、地域性を含め、慎重に検討してほしい。
要望 29	市立幼稚園では、保護者同士のつながりができ、そのまま同じ小学校に入学するので良かったという話を聞く。適正化の際には、市立幼稚園等に通う園児やその親の意見を聴き、慎重に検討してほしい。
要望 30	地域によっては、統廃合により通園が難しくなる地域もあり、中学校区に原則1園は厳しい。小学校と隣接している園は、適切な予算、人員、広報をしたうえで何年か様子を見るなど、丁寧な検討をしてほしい。

要望 31	統廃合は慎重に、子供の利益となるよう考えてほしい。
要望 32	規模適正化には反対である。園児が少なくても、我が子を市立幼稚園に通わせたい親はいるため、1人でも通いたいと思っている家庭がある場合は、閉園はやめてほしい。
要望 33	合理化や効率を優先しての統廃合はやめてほしい。それぞれの園に地域に根付いた歴史や市民の愛着があると思うため、地域住民の声や要望をしっかりと受け止めてほしい。
要望 34	園児数の減少は、少子化によるものとは思いますが、市立幼稚園・保育園の歴史を考えると、地域住民にとっては、統廃合や閉園は寂しく感じると思う。
要望 35	規模縮小は再考してほしい。規模縮小は、地域とのつながりが薄れることにつながる。地域との交流を通じ、人と触れ合うことが心の教育となる。
要望 36	集団生活が苦手な子が、少人数の幼稚園に通い始めて、先生と友達と仲良くなり、楽しい毎日を過ごしている。少人数だから統廃合するという考え方に強く反対する。お金がないから無駄な幼稚園を減らしていくという考えに強く反対する。
要望 37	幼稚園の統廃合には反対である。少人数だからこそ一人ひとりに目が行き届く、それぞれに合った丁寧な保育をしてもらっている。異年齢の子供との交流も盛んであり、先生の工夫により、色々な経験ができています。他園との交流や地域の人との交流があり、地域と密な関係を築けており、地域住民も喜んでいる。自分も通った思い出のある幼稚園を無くさないでほしい。
要望 38	幼児期に自然の中で、少人数で育った子供は、人間の基礎となる感性と人格が育つことは間違いない。
要望 39	発達障がい児など、支援を必要とする子供が増えており、少人数での支援を行うことができる施設は必要である。
要望 40	少子化や人口減少の中でも、共働き、核家族、シングル家庭、家庭支援が必要な家庭などによる保育の需要は高まっており、保育園は、今後も重要な施設であるという考えは同意でき、そのための受け皿は十分に必要である。
要望 41	市立保育園20園はなくさないでほしい。市立園は、適切な人員配置が保障されており、丁寧な保育がされている。私立園も増えているが、市立園が、地域の子育ての中心を担っていくべきである。市立と私立の両方があることが重要である。
要望 42	公務員教師の質の高さ、これまでの歴史と地域との密な関係、小学校との連携と関係性などを考え、市立幼稚園は存続させてほしい。

要望 43	市立園は地域・市民の宝である。簡単に減らさないでほしい。
要望 44	この方針は、単に園児数が減ったから施設を減らしたいというものか。保護者の中には、子供に何かあった場合に備え、自宅や勤務地に近い園を選んでいる人がいる。この様な人のことを考えず、統廃合してしまって良いのか。
要望 45	トップダウンではなく、保護者・職員の理解が得られるよう、説明会を開き、必ず案を事前に示してほしい。
要望 46	時代の流れの中で検討していることはわかるが、学校を含め、公立施設が減らされていくと、住みにくくなるという意識がある。説明が不十分と感じるため、詳細に、丁寧な説明が必要である。

【市の考え方】その他

人口減少や少子化、ライフスタイルの変化など、社会環境は大きく変わっています。その中で、子供たちにより良い教育・保育環境を持続的に提供していくためには、市立幼稚園・保育園の適正化等は必要と考えます。

一方、統廃合は、基本理念にもあるとおり、地域の実情に合わせ実施するものと考えており、検討にあたっては、保護者や地域住民、私立園などと十分協議したうえで進めます。

また、統廃合にあたっては、必要に応じ、少人数保育や地域とのつながりの強化などの対応についても検討します。

要望 47	むやみに統廃合に反対している訳ではないが、市立幼稚園の園児数減少対策と、地域の実情に合わせた統廃合の両面を検討してほしい。
要望 48	市立幼稚園がなくなると地域が衰退すると考えている住民が多い。5人という人数を設定するのではなく、少ない園児数でも良い教育・保育が実践できるような運営体制を構築して、閉園させない方法を考えてほしい。
要望 49	園児数が減少する中、運営を維持していくことは大変だと思うが、地域性もあるため、地域住民と話し合っ、維持する方向を模索してほしい。
質問 24	市立園の園児数の減少は、市立幼稚園の地域に根ざした保育より、民間のバス通園などの利便性などに市民が移ったことではないか。減少している事態をどう改善しようとしているか示してほしい。

【市の考え方】その他

少子化が進む中、市立園の園児数減少対策は、私立園の運営に影響を与えることとなり、就学前施設の提供体制については、私立園の状況などを踏まえ、検討する必要があります。より良い環境を整えていくためには、規模適正化と運営の充実、施設の整備を同時に進める必要があると考えます。

要望 50	私立園との子供の奪い合いの状況が、市立幼稚園の園児数の減少に大きく関係しており、少子化の中、私立園が運営から手を引かざるを得なくなったときに、市としてどの様に体制を整えていくかも適正化の大きな課題である。
要望 51	市立園は、民間園で何か起こったときのセーフティネットとしての存在でもあるため、維持してほしい。子供を第一に考えた幼児教育・保育を願う。
質問 25	市内の私立園が定員割れを起こしている中で、市立幼稚園（山間部除く）を存続させる理由は何か。今後、私立園が何らかの理由で現在の市立幼稚園の様な状況になった場合、園長、教職員の給与等を含め、同じような対応をとってくれるのか。私立園も同様の対応をしてもらえるならこれで良い。

【市の考え方】盛り込み済

幼児教育・保育の保障の観点から、一定の公立園は必要と考えます。そのため、運営継続を想定する拠点園を設定することとしました。

提案 7	統廃合により生まれる施設、土地及び人材は、今後どのように活用されることになるのか、適正化による効果を説明すべきである。
要望 52	園児数で保育園を統合する前に、保育の質の向上や安心して預けられる環境づくりをするべきである。質を改善しない、量の縮小は考え直してほしい。

【市の考え方】盛り込み済

統廃合により生まれた人材や資源は、基本方針に掲げた運営の充実や施設の整備などに有効に活用することで、幼児教育・保育の質の向上に努めます。

質問 26	統合された場合は密にならないか。子供のパーソナルスペースやソーシャルディスタンスは確保されるのか。
----------	---

【市の考え方】盛り込み済

統廃合の検討にあたっては、施設の状況など、子供たちの活動スペースについても十分に考慮します。

質問 27	具体的にどの程度統廃合を進め、園を減らす考えているのか。
質問 28	以前も統廃合の話が持ち上がったが、保護者の反対意見等により、実施されなかったと聞いている。今回は実施できる見込みということか。

【市の考え方】その他

統廃合については、方針施行後、保護者や地域住民などと協議したうえで決定します。そのため、現時点で、どの程度の園を統廃合するのかについては決まっていません。

要望 53	中学生の不登校が増えている。不登校にならないように、園での教育をしてほしい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

不登校の原因は様々ですが、集団生活に不慣れであることも原因の一つになると考えられます。方針に基づき、幼少期から人と関わる力などを育むことができる環境づくりに努めます。

要望 54	市立保育園では、狭い部屋に大勢の子供たちが保育されており、ホールを保育室として使用しているところがある。小学校が30人学級と言われている中、保育園がそれ以上の人数で保育されているのは間違っている。
要望 55	「保育需要に合わせた定員の適正化」とは、具体的にどういうことか示してほしい。待機児童対策でホールや廊下まで面積に入れ定員を増やしたことがある。適正人数にすることで公立園を望んでも入れなくなるようなことはしないでほしい。

【市の考え方】盛り込み済

市立保育園では、現在、1クラス30人を超える定員を設定している園はありません。「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に基づき、子供の数に応じた必要面積を確保しています。

方針施行後は、保育ニーズや施設の状況なども加味したうえで、必要に応じて、定員の変更などについて検討します。

② 中学校区をエリアとし、地域の市立幼稚園・保育園の拠点となる園（拠点園）を設定します。（9件）

提案 8	少子化が進む中、中学校区をエリアとすることは良い考えだと思う。市立幼稚園も小学校・中学校と同じように「校区制」にしてみてもどうか。
要望 56	中学校区をエリアに拠点園を設定し、統廃合を進めることに対しては理解できる。
要望 57	中学校区にまとめる案に反対する。地域格差を考慮しないと未来につながる人材は育成できない。お金ですべてを判断している社会に偏り過ぎていないか。
要望 58	中学校区にすると、広すぎて地域の子供をみる意識を薄めることにならないか。

【市の考え方】その他

現在の園児数の状況などから、小学校区では十分な園児数の確保が困難と判断しており、中学校区が適切と考えます。また、校区制についても、保護者の選択肢が減るとともに、利便性が低下する可能性があることから、市立園の園児数の確保がさらに難しくなると考えます。

要望 59	拠点園の果たす役割や方法などを明確に示してほしい。拠点園は、当初から中学校区ごとに設置することは無理があり、現在も多忙な幼稚園、保育園の負担がさらに増える。拠点園を作る場合、まずは1～2園のモデル園から始めてはどうか。
要望 60	拠点園を設定する理由、目的がはっきりしない。理由もないのに役割だけを与えることはおかしい。
要望 61	拠点園は、何をする園かわからない。
要望 62	拠点園とならない園が改善されないイメージが強い。拠点園は、小規模でも地域の特性を生かした、多機能をもち合わせた園など、園ごとに特色のある創意工夫のある園運営を、地域・保護者・職員・自治体が一緒になって取り組んでほしい。担当課には、全国の先例を学び、施策を進めてほしい。まずモデル園を設定し、問題点を十分検証し、進めてほしい。
要望 63	拠点園については、各園の特色や個性、多様性、通いやすさが失われないようにしてほしい。

【市の考え方】案の修正

拠点園は、運営継続を想定し、当該地域内において統廃合を進める場合、原則、統合先となる園で、これまでどおり、地域の特性などを生かした運営を継続します。

一方、「地域全体の幼児教育・保育の質の向上を図る役割を担う園」に選定された園については、通常の園運営に加え、幼児教育・保育に関する情報発信など、新たな取り組みを進める必要があるため、モデル園を設定し、効果や課題などを検証したうえで進めることとしました。

なお、「拠点園以外の園は、運営が継続されないのでは」との誤解を避けるため、以下のとおり記載内容を変更します。

《修正内容》

(修正前)

- ・ 市立幼稚園・保育園の中から、運営継続が想定される「拠点園」を設定します。

(修正後)

- ・ 市立幼稚園・保育園の中から、園児数や施設の状況などを踏まえ「拠点園」を設定します。

③ 多様な市民ニーズや地域の実情などを踏まえ、「認定こども園」の設置を検討します。(14件)

要望 64	拠点園に設定された場合は、認定こども園化をしっかりとやってもらいたい。保育機能があれば、子供が少ない地域でも園児数を確保できるはずであり、しっかりと予算を掛けて対策してほしい。
要望 65	就労している親が多くなっており、保育園の需要はあるため、認定こども園化は良い。

要望 66	認定こども園を増やすなど、社会環境の変化に合わせた施設の設置を検討してほしい。
要望 67	今後、園児数が減少傾向にあるなら、認定こども園への移行や設置に前向きな検討をしてほしい。
要望 68	幼稚園と保育園の双方の良さを兼ね備えた認定こども園を増設してほしい。きょうだい育児においても、認定こども園は有効である。
要望 69	中学校区に1園、認定こども園設立が構想されているが、必要なのは認定こども園ではない。
要望 70	これから必要なのは市立認定こども園ではなく、多様な建学の精神に基づいて運営し、地域や時代に合った教育、保育をすることができる私立を尊重すべきである。
要望 71	過去の2年保育から3年保育に変更した際の戸惑いや混乱、幼稚園を学校として維持していくことの重要性などを考えると、市立幼稚園と市立保育園は別々であるべきである。
要望 72	合理化や効率を優先してのこども園化はやめてほしい。それぞれの園に地域に根付いた歴史や市民の愛着があると思うため、地域住民の声や要望をしっかり受け止めてほしい。
要望 73	園児数の減少は、少子化によるものとは思いますが、市立幼稚園・保育園の歴史を考えると、地域住民にとっては、統廃合や閉園に伴う認定こども園化は寂しく感じると思う。市立幼稚園は、預かり保育や一時預かり保育などでしのいでほしい。
要望 74	市立園を統廃合し、新たな認定こども園化することは、私立園を混乱させ、競争や経営を圧迫させかねない。
要望 75	認定こども園化に際しては、地域の特性に十分配慮していただき、市立園は、幼児教育が十分行き届いていない地域や支援が必要な子供たちのために力を注いでほしい。

【市の考え方】その他

認定こども園化については、先行的に実施した園により効果や課題などを検証したうえで、本格実施に向けて検討します。

また、定員変更などにあたっては、私立園への影響などを考慮します。

質問 29	認定こども園とは、どの様なものか。認定こども園のメリットを知りたい。
----------	------------------------------------

【市の考え方】その他

認定こども園は、幼稚園と保育園の機能をあわせ持ち、教育と保育を一体的に行うとともに、地域の子育て支援も行う施設です。メリットとしては、保護者の就労状況が変わった場合でも同一施設を利用できることなどがあります。